

患者参画のいま、そして未来

— 共に医療・医学の政策を考える —

Patient Involvement in Policy Making – Current Issues and Future Directions

いま、政策に患者の視点を反映させることの重要性が認識されはじめています。こうした状況を受け、私たちはその有効な手法や期待される成果を、実践を通して研究しています。今回は、国内外から患者参画に携わるの方々をお招きし、現在行われている取り組みをご紹介します。また、パネルディスカッションでは、患者を交えた意見交換を行います。今後の患者参画に期待される内容や在り方について、みなさまと考える場になればと存じます。是非、お気軽にご参加ください。

2020年10月16日 金 16:00-19:00

開催形式 オンラインシンポジウム

日英同時通訳つき(専用アプリケーションを使用)
詳細は参加登録された方にお知らせします。

- 事前に参加登録を頂いた方に当日参加用URLをお知らせします。
- ブラウザから誰でも参加頂けるシステム(ユーザ登録不要)を使用します。
- パソコン・スマホで全国どこからでもご参加いただけます。

講演者・パネリスト(予定)

ご挨拶 山縣 然太郎 (山梨大学大学院総合研究部医学域)
Zentarō Yamagata

プロジェクトの紹介 加藤 和人・古結 敦士 (大阪大学大学院医学系研究科)
Kazuto Kato Atsushi Kogetsu

講演① Kassim Javaid (University of Oxford)
カシム・ジャバイド

講演② Jane Kaye (University of Oxford)
ジェーン・ケイ

講演③ 山本ベバリー・アン (大阪大学大学院人間科学研究科)
Beverley Anne Yamamoto

ビデオメッセージ 武藤 香織 (東京大学医科学研究所)
Kaori Muto

パネリスト 秀 道広 (広島大学副学長・大学院医系科学研究科) ほか
Michihiro Hide

パネルディスカッションでは、これまで私たちのプロジェクトに参加された方のうち、患者・研究者が共に登壇し、意見交換を行います。

お申込み

対象 ご関心をお持ちの方であれば、どなたでもご参加いただけます。

定員 200名(参加費無料)

参加登録 下記ページのフォームから参加登録をお願いします。

※ 事前参加登録: 10月12日(月)12:00まで

<https://www2.med.osaka-u.ac.jp/eth/seminar/20201016/>



参加登録はこちらから

主催 科学技術イノベーション政策のための科学・平成30年度採択研究開発プロジェクト
「医学・医療のためのICTを用いたエビデンス創出コモンズの形成と政策への応用」(代表・加藤和人)

問合せ 大阪大学大学院医学系研究科・医の倫理と公共政策学 email:ristex@eth.med.osaka-u.ac.jp